

学校教育目標：自ら考え、行動する中筋の子

2023 年
5 月 23 日

なかすじっ子

No. 4

文責：永野

四万十市立中筋小学校 学校通信

子どもが育つ学校 中筋小学校

5 月 18 日（木）の 17：30 から、今年度第 1 回の「中筋子どもと共に育つ会」を 2 階のワークスペースで、その後イングリッシュルームで「中筋小学校学校運営協議会」を開催しました。

「共に育つ会」は、開かれた学校づくり推進委員会として平成 10 年に発足したもので、今年で 25 年目を迎えます。「学校・家庭・地域の三者がお互いに連携・協働して、子どもたちの健全育成のために取り組む」ことを目的としています。会長は地域コーディネーターの さん、委員さんとして、〔区長、民生委員・児童委員、中筋子ども見守り隊、保育所長、PTA 会長・副会長〕など多くの皆さんから構成されています。

会は、児童会や保育所、小学校（学校経営方針等）からの報告の後、意見交換を行いました。児童会からは、 児童会長、 副会長が参加し、「あいさつができ、笑顔あふれる優しい学校を作る」と前期の児童会としての取り組みを「どんな学校にしたいか」をしっかりと伝え、あいさつ運動や児童朝会、遠足など児童会の取組を説明してくれました。児童会の 4 人でスライドを作成し代表 2 人が発表しました。

「中筋子どもと共に育つ会」での協議から

国道の横断は旧 AIR のところの正規の信号機で渡りましょう。

街頭指導等で危険を感じていることが出されました。正規の信号が青になって西へ向かう車が、すぐに次の押しボタン信号で赤になった時、急ブレーキをかけることがあります。事故になりかねず、危険であるので、児童の横断は正規の信号で横断することにしましょうと全員一致で確認をしました。

22 日（月）の児童朝会で、全児童に説明しています。街頭指導で押しボタン信号に立って下さる方は、正規の信号の方への促しをお願いいたします。



「中筋小学校学校運営協議会」の趣旨は「保護者や地域の人々が、学校運営への参画や支援・協力をすすめることで、三者の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や子どもたちの健全育成に取り組む」となっています。中筋子どもと共に育つ会が「実際に連携・協働する」ことに重きを置くのに対して、学校運営協議会は、学校運営に一步深くかかわるという点で違いがありますが、どちらもめざすのは、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくことです。

今回、PTA 会長も含め 10 名の委員さんで、会長には引き続き、民生委員のさんになっていただきました。



名 前	所属等	名前	所属等
さん	コーディネーター	さん	中筋子ども見守り隊・子ども教室
さん	民生委員代表	さん	学校評価委員
さん	主任児童委員	さん	PTA 会長
さん	中筋保育所長		校長
さん	区長会代表		教頭（事務局）

「学校運営協議会」の協議では、

★学校運営協議会として、一步踏み込んだ話し合いができる会にしましょう。

★完全複式化は R7 年度であるか、これからの児童の推移に目を向けていきましょう。

など、意見を出していただき、学校での今の現状や様子を議題にし、大変参考になるご意見をいただきました。

今年度も「地域とともにある学校」として取組を進めて、地域の未来である「子どもたちが育つ中筋小学校」にしていきます。ご協力よろしくお願いします。

交通安全教室で身近な危険 再確認

5月16日（火）には、3校時に1・2年生は自転車の乗り方の学習を、4校時には全校で「交通ルールについて」警察の方とDVDを見ながらの学習を行いました。

自転車の乗り方指導に関しては、さすがに2年生は乗り方が上手です。ブレーキをかけたり、後方や左右の確認、クランク、ハの字走行、ジグザク走行など、普段は行っていない乗り方を行いました。1年生も真剣に乗っていました。



4校時の全校での学習は、まず「自転車とヘルメットはワンセット」ということで、ヘルメットの装着によって衝撃がどのくらい緩和されるのかを確認しました。大事な頭がヘルメットによってかなり守られることを感じた子どもたちです。次に自転車での身近な危険について確認しました。事故の原因は何であったのかを子どもたちと考えました。自転車であってもスピードの出しすぎ等で、人に怪我をさせることは加害者になるということです。自転車も車と同じ責任になります。

交通ルールを守って安全に自転車を乗られるよう、子どもたちとご家庭でも一度話をしていただけますようお願いいたします。

お芋よ、大きく育てね

さんと さんのおばあさんが芋のつるをたくさん分けてくださり、今年度も中筋保育所の皆さんと一緒に芋のつるを挿すことができました。

この日までに、全校児童でわずかながら草引きを縦割り班で行い、その後地域のさんに畑を耕運機で耕していただきました。その後職員が畝を作り当日を迎えることができました。いろいろなところで地域の方が関わり学校を支えてくださっています。ありがとうございます。

芋のつる挿しをした後はたっぷりの水が必要になりますが、この日は雨が降り、つる挿しには持って来いの日和でした。大きなお芋が育ちますように。